京都教区時報

カトリック京都司教区
広報委員会
京都市中京区
河原町通三条上る
TEL 075-211-3025
FAX 075-211-3041
honbu@kyoto.catholic.jp

https ://www.kyoto-catholic.net/

2024年　司教年頭書簡
わたしのシノダリティを創ろうⅡ
シノドスがめざす〈道〉と〈宿〉の宣教を受けて

第2回　教会は旅人

年頭書簡で大塚司教が提示されたキーワードは〈道〉と〈宿〉です。京都北部ブロックでも、これを今年の宣教司牧活動の課題としたいと思います。

能登半島地震で始まった今だからこそ、信徒一人ひとりが自覚をもって共に歩む教会共同体作りが求められています。今年のシノドスに向けて私たちが歩むべき道は、今まさに苦境に立たされている人々と共に歩むことです。この地上的な歩みは、第二バチカン公会議が示した教会の姿であり、宣教する「旅人」でした。教会は「神の国」の完成に至る〈道〉にあってこの信仰の旅を続けます。その〈道〉で出会う者は誰であれ隣人です。書簡にもあるように、私たちも今ここで出会う傷ついた人々に気づき、寄り添いながら前に進みましょう。

「旅」と聞けば、今夜はどこに泊まろうかと考えます。もし泊まる場所がなければ不安に陥ります。まして傷ついた人を助けたあのサマリア人は、そんな思いをさせてはならないと〈宿〉に連れて行って介抱しました。帰りがけにも〈宿〉に寄って、足りない分を支払うと約束したサマリア人、その人は間違いなくイエスの姿です。愛に満ちたエマオへの旅人イエスは希望を無くした人々に寄り添い、話を聞き、一緒に〈宿〉に泊まられました。大塚司教ご指摘のこの〈道〉と〈宿〉は共に歩むキリストの姿を彷彿とさせる、まさにシノドスにふさわしい言葉です。皆様と共に、この二つの言葉を黙想しながら、〈道〉で隣人と出会い、〈宿〉で神の愛の絆を感じ取りましょう。

傷つけられた隣人、傷ついている地球の嘆きと叫びを聞き取り、悲惨な状況に目を背けることなく、〈道〉に倒れている人々と向き合い、交わり、関わっていきましょう。イエスは傷ついた人の前を通り過ぎることなく、かがみ込んでその声を聴かれました。私たちも同じように人の悩みや痛み、そして苦しみを聞き、これを担って共に歩むことです。自らも出向き、傷を担い、深い愛と憐れみで包んでくださったイエスのように、私たちも自らを安らぎの場として〈宿〉を貸し、傷ついた人々に愛をもって寄り添っていきましょう。神の目はいつも貧しい人々に注がれています。苦しむ者の声を聞かれたイエスと共に私たちも心を開き、回心の〈道〉を歩み、みことばの福音を告げ知らせることができますように。

京都北部ブロック担当司祭
レデンプトール会
頭島　光神父

3
2024

丹後教会の取り組み
教会ぴあの

２０２３年、丹後教会では「教会ぴあの」という催しを企画し、大宮礼拝堂にて３回実施しました。

「教会ぴあの」とはいわゆるストリート・ピアノの教会版です。教会ホールを開放して自由にピアノを弾いてくださいという企画です。大切にしたかったことのひとつは信徒の一人ひとりが「教会に来ませんか？」と、周囲の方に声を掛けていくことです。チラシを作成しての声掛けをメインに、音楽店や地域活動の拠点にポスターの掲示とチラシを置かせていただき、ＳＮＳでの情報発信、キッチンカーの依頼、地元のコミュニティＦＭでも紹介していただくよう働きかけをしました。

こうした広報活動を行い、３回の「教会ぴあの」で延べ254人の方が教会に来られました。参加者の半数近くが一般の方であり「初めて教会に来ました」という方々だったということは画期的だったと思います。

スタッフは「初めまして」の方に少しずつ教会を知ってもらい、３回目の「教会ぴあの」で降誕祭のご案内をすることを目標に準備をしました。教会の写真を展示したり、信徒の方が主宰している教室のキルト展をしたり、クリスマスの本を並べたり、エントランスでカフェを行い聖堂に入る流れを作ったりと、知恵を絞りました。それと同時に参加者が楽しい音楽の時間を過ごせるように、キッズタイムを企画したりして、楽しい進行を心掛けました。

３回目の「教会ぴあの」の後、教育部主催のクリスマス工作教室に１家族（４人）、降誕の夜半のミサに４人、一般の方が来られました。毎年の復活徹夜祭で福音の新しい兄弟姉妹を迎えることを福音宣教の果実とするならば、「教会ぴあの」が紡いだものは、始めの一歩にも満たない、小さな始まりのようなものかも知れません。でも私たちは知っています。主である神は私たちの紡いだ小さな始まりを喜んでくださり、豊かな実りで報いてくださる方であるということを。

丹後教会では２０２４年も複数回の「教会ぴあの」を計画しています。祈りのうちに力を合わせて歩みを進めて行こうと思います。

カトリック丹後教会　おばたとしお

＊＊＊＊＊　青少年委員会　＊＊＊＊＊

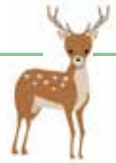
高校生会「冬の集い」

伏見教会にて　12月27日開催

高校生会「冬の集い」が開催されました。

午後2時に伏見教会に集まった8名の高校生は自己紹介をし、今自分が夢中になっていることを分かち合いました。この日は聖ヨハネ使徒福音記者の祝日で、当日の聖書箇所(ヨハネ20章2～8節)の朗読を聞き、アントニオ神父に解説をしていただきました。その後、参加者は伏見稲荷大社まで歩き、鳥居が赤い理由、外国人の姿が多いことの意味、聖域といわれる場所の持つ雰囲気など、各自の思いを巡らしながら境内を散策しました。電車で教会へ戻り、ホセ神父司式のミサに与りました。ミサ後に伏見教会の方々の手作りきつねうどんとおでんをご馳走になり、今日の感想を分かち合いました。深草地域の文化と歴史に触れ、また、参加者同士の交流もでき、よい時を過ごすことができました。ご協力いただいた伏見教会の皆様に心より感謝申しあげます。

高校生会担当司祭　菅原友明



中学生会冬合宿「なぁぜなぁぜ」

奈良教会にて　12月27～28日開催

今回は久しぶりの合宿をし、久しぶりに会った人たちと、もっと仲良くなれたと思いました。冬合宿恒例の班対抗ケーキ作りや、プレゼント交換もできて、中学生だけでなく、神父様方やリーダーも楽しんでいました。

レクではウィンクキラーをしたり、奈良公園へ行って鹿と触れ合ったり、鬼ごっこもしました。

分かち合いでは「自分にとっての教会」をテーマに、それぞれが意見を出しあっていきました。中学生にとってはすこし難しいお話なども、リーダーたちが分かりやすく説明をして、自分にとっての教会は、友達と会える場所、楽しい場所などの意見がたくさん出ました。

隙間時間にリーダーと話したり、みんなでminiレクをしたりしました。中学生たちだけでなく、リーダーにもいい機会になったと思います。

参加してくれた中学生は、友だちにもリーダーにも積極的に話してくれて、短い時間でしたが深い交流ができたので、次の中学生会にもぜひ参加してほしいと思います。

今回の冬合宿開催にあたって、準備してくださった保護者の皆さま、奈良教会の皆さま、本当にありがとうございました。

中学生会リーダー　長浜教会　菊川マリア

チェジュ教区司祭叙階式　１月20日　三位一体大聖堂にて

ゴ・スンゴン神父さま
司祭叙階
おめでとうございます！

京都教区と韓国のチェジュ教区は
姉妹教区縁組を結んでいます。

チェジュ教区ＨＰ掲載の動画より

「信徒も司祭もともに霊的な会話」

世界代表司教会議（シノドス）第16回通常総会参加報告・前編

菊地功大司教（司教協議会会長）

■テーマ・「ともに歩む教会のため―交わり、参加、そして宣教」

■参加者・投票権を持つ「メンバー」363名。各国の司教協議会から選出された代表のほか、120名は教皇様の指名。教皇様の指名の中には、枢機卿や司教のほか70名の司祭、修道者、信徒が含まれ、そのうちの54名が女性。

■日本からの参加者

菊地功（司教団選出代表）、西村桃子（教皇任命議長代理）、弘田鎮枝（教皇任命専門家）

■概要

10月４日の教皇司式の開会ミサで始まったシノドス本会議では、参加者全員が35のテーブルに分かれ、各テーブルには11名ずつが配置された。各テーブルには12のタブレットが置かれ、テーブルの真ん中には四方向に向かってモニターが配置され、そのモニターの中心には発言者を映し出すための小さなビデオカメラが設置されていた。

今回のシノドスで一番重要な位置を占めるのが、「霊的な会話」という分かち合いであり、その分かち合いを単なるおしゃべりではなく「霊的な会話」にするためには、それなりのトレーニングを受けた司会者（ファシリテーター）が不可欠。テーブルに参加者11名にプラスしてもう一台のタブレットがあるのは、このファシリテーターのため。

35のテーブルそれぞれに配置されたファシリテーターは、事前の研修を受けていたとはいえ、一番骨の折れる仕事は、事前に定められた３分という制限時間を越え、時に長々と話し続ける聖職者、特に枢機卿や司教の発言を遮って、与えられたテーマからそれないように、そして制限時間を守るように導くことであった。ファシリテーターは男女の信徒や司祭・修道者。

この丸テーブルで、枢機卿、司教、司祭、修道者、信徒が、同じテーマについて同じ持ち時間で、自分の思いを分かち合う光景は、今回のシノドスの「ともに歩む」教会を体現する一番の象徴的な光景であった。

会期中は、討議要綱の４つの課題（A, B1, B2, B3）についての「霊的な会話」が進んだ段階で全体会議が行われ、それぞれのグループから３分間の発表と、自由な発言が許された。このグループ別の発表と自由な発言の時間を統括する、議長代理として教皇様から日本の西村桃子さんが任命され、この議長代理には今回初めて枢機卿以外も任命され、その中には西村さんを含め２名の女性がおり、参加者は教会の歴史に刻まれる、女性の活躍の「初めて」の出来事を目撃した。（つづく）

（カトリック中央協議会サイトより）

Vatican Media

こんにちは　シスター

京丹ブロック　シスター ポーリン・フェルナンデス（カルメル宣教修道女会）

私はインドのゴア出身のシスター ポーリン・フェルナンデスです。

カルメル宣教修道女会は、福者フランシスコ・パラウ・イ・ケルによってスペインに創立された宣教修道会です。幼い頃から修道者になるようにとの神の召し出しを感じ、神の摂理によってカルメル宣教修道女会へと導かれました。そのために、私はいつも神の絶え間ない祝福に深く感謝しています。

日本に宣教師として派遣されたとき、私はとても嬉しかったです。神の愛を証しし、キリストのみ言葉を人々に告げ知らせることが私の目標です。現在、私は京丹ブロックで司牧協力者として活動しています。

私たち全員が神との交わり、そしてお互いとの交わりの中でシノドスの旅を歩むことができるよう祈っております。

青年センター　周年企画報告

青年センターは今年で35周年を迎えました！　そこで、1月14日（日）に周年企画として大掃除を実施いたしました。皆さまのおかげで、気持ちよく新しい1年のスタートを切ることができました。

参加してくださった青年の皆さま、ありがとうございました！

（写真は開始前のお祈り→）

青年センターの開館日は、ホームページやFacebookにて掲載しています。近くにお越しの際は是非、京都カトリック青年センターへお立ち寄りください。

京都市上京区新町通一条上る一条殿町502-1
カトリック西陣青年会館3階

つながるネットワーク 温かいコミュニケーション
京都カトリック青年センター

青年センターは、教区を越える青少年活動について
京都教区の窓口となるとともに、京都教区内の各教会、
青年の各諸活動をバックアップするための機関です。

青年

← 青年センターのＨＰも見てね！

青年センターあんてな

お　知　ら　せ

司　　教

大塚司教の予定

最新の情報は京都司教区のホームページにてご確認ください。右記のＱＲコードからも確認できます。

教　　区

ライムンド出水洋助祭　司祭叙階式

日　時：３月20日㊌㊗ 10:00
場　所：司教座聖堂河原町教会
新しい司祭の誕生を、共にお祈りください。

信仰教育委員会

青年のための黙想会

日　時：３月16日㊏ 10:00～16:00
場　所：聖ヨゼフ修道会本部修道院
京都市北区北野東紅梅町
講　師：エミリオ・フォルトウール神父
（グアダルペ宣教会）
対　象：青年男女(18歳～35歳 高校生参加不可)

小学生侍者合宿

日　時：３月25日㊊～27日㊌
場　所：洛星宗教研究館
京都市北区北野上白梅町
対　象：小学生男女　新５・６年生
定　員：30名（先着順に締め切り）

青年の黙想会・侍者合宿、いずれも申込・問合せはメールまたはFax
メール：shinko_kyouiku@kyoto.catholic.jp
Fax：075(366)6679
※詳しくは教区のＨＰにてご確認ください。

聖書委員会

2023年オンライン聖書講座ＤＶＤ頒布

「ともに歩んでくださる神―シノダリティのこころを求めて」
レジュメ入り　パソコン視聴用
全12講話ではＤＶＤ３枚
ＤＶＤ１枚に４講座入って2000円
申込・問合せは聖書委員会まで
メール：seisho@kyoto.catholic.jp
Tel：075-366-6609　Fax：075-366-6679

広報委員会

教区時報５月号の原稿締切日は３月18日㊊です。
お知らせに掲載希望の場合は、メールにてご連絡ください。honbu@kyoto.catholic.jp

諸　団　体

京都カトリック混声合唱団

３月10日㊐ 14:00 聖歌練習
３月23日㊏ 17:30 練習後、ミサ奉仕
場　所：河原町教会聖堂
問合せ：075-951-4283 則武 隆

コーロ・チェレステ（女声コーラス）

練　習：３月14日㊍ 10:00
場　所：河原町教会２階楽廊
問合せ：075-561-5971 駒井和子

聴覚障がい者の会・京都グループ

手話表現学習会（聖書と典礼）

日　時：３月19日㊋ 10:30～15:00
場　所：希望の家地域福祉センター
京都市南区東九条東岩本町31-10
申込・問合せ：Tel・Fax：075-723-1135　傳 裕子

心のともしび

ラジオ番組案内（全国34局で放送）

ＫＢＳ京都	㊊～㊎	朝５:55
	㊏	朝５:15
ラジオ関西	㊊～㊎	朝５:00
	㊐	朝６:05
毎日放送	㊊～㊎	朝５:45
	㊏	朝４:55

３月のテーマ「旅立ち」

大塚司教年頭書簡は
こちらから →

皆さまのまわりに**点訳版「京都教区時報」**が必要な方がおられないでしょうか。点訳版「京都教区時報」をご希望の方がおられましたら、カ障連大阪フレンドリー点字部・笠松幸彦さんまでお申込みください。無料でお送りします。
Tel・Fax/072-722-0271